

## 令和5年度 貝塚市社会福祉協議会事業報告

近年、少子高齢化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化はますます厳しさを増し、8050問題やダブルケア、生活困窮者の増加、児童や障害者などへの虐待、社会的孤立など、地域の福祉課題は複雑化・複合化しています。

一方、今年度になって、コロナ禍で中止や規模の縮小を余儀なくされていた事業や地域活動については、ようやく本来の形で再開・実施されるようになり、コロナ前の姿に戻ろうとしています。そのような中、本年度は、本会の活動指針となる「第5次地域福祉活動計画」(5カ年計画)の1年目にあたり、その基本理念である「魅力かがやき あたたかい絆のあるまち 貝塚」の実現のため、地域住民や福祉活動を行う関係団体と連携を緊密に図りながら、地域福祉の推進に取り組みました。

まず、障害者基幹相談支援センターにおいては、障害に関する総合相談や専門相談、障害者自立支援協議会の企画運営への参画、親亡き後や障害の重度化を地域で支える地域生活支援拠点等の整備、地域移行・地域定着支援に関する関係機関との連携強化など、障害者の社会参加と地域生活を支えるための活動、障害への理解を深めるための啓発活動等に取り組んでまいりました。

また、コミュニティソーシャルワーカーにおいては、「拡大地域ケア会議」の運営を中心にアウトリーチによる総合相談体制の強化を図るとともに、生活困窮状態にある方には、生活福祉資金の貸付事業や新型コロナ特例貸付フォローアップ事業、家計改善支援事業を通じ、市の自立相談支援機関をはじめとする関係機関とも連携し、包括的な相談支援の実施に努めてまいりました。

さらに身近な地域での支え合いと助け合い活動を推進するため、地区福祉委員会や町会・自治会、民生委員児童委員協議会などの関係団体と連携・協力し、要援護者への見守り・声かけ活動やふれあい喫茶、ふれあいサロン活動など住民が主体となった地域福祉活動の推進に取り組みました。

災害分野においては、災害時の活動を迅速かつ効果的に進めることを目的に、昨年の大阪いずみ市民生活協同組合に続き、貝塚ライオンズクラブと「災害時におけるボランティア支援に関する協定」を締結しました。

また、事業推進の裏付けとなる財源については、会員会費制度の増強を図るとともに、共同募金・歳末助け合い運動を展開し、活動を支える自主財源の確保に取り組みました。

以下、令和5年度の事業の実施状況について報告します。

## 1. 各種会議開催経過

### ○理事会 5回

年月日	会場	主な議題	出席人員
5.6.7	保健福祉合同庁舎	令和4年度事業報告・決算認定の件	11人
6.23	保健福祉合同庁舎	会長・副会長選任の件、相談役選任の件	12人
7.19	書面審議	評議員選任候補者推薦の件	
6.2.13	書面審議	令和5年度一般会計補正予算の件	
3.15	保健福祉合同庁舎	令和6年度事業計画、一般会計予算の件	11人

### ○評議員会 3回

年月日	会場	主な議題	出席人員
5.6.23	保健福祉合同庁舎	令和4年度事業報告、決算認定の件	21人
6.2.26	書面審議	令和5年度一般会計補正予算の件	
3.27	保健福祉合同庁舎	令和6年度事業計画、一般会計予算の件	26人

### ○評議員選任・解任委員会 1回

年月日	会場	主な議題	出席人員
5.9.14	保健福祉合同庁舎	評議員の選任について	6人

### ○監査 1回

年月日	会場	主な議題	出席人員
5.5.22	保健福祉合同庁舎	令和4年度決算監査	3人

### ○地区福祉委員会連絡会 4回

年月日	会議の名称	会場	主な議題	出席人員
5.5.31	三役連絡会	保健福祉合同庁舎	会員会費制度の推進	18人
9.13	三役連絡会	保健福祉合同庁舎	共同募金運動の推進	19人
11.16	三役連絡会	保健福祉合同庁舎	歳末たすけあい運動の推進 コープ移動販売事業説明等	25人
6.2.28	三役連絡会	保健福祉合同庁舎	小地域ネットワーク事業補助金精算・事業報告	26人

○委員会 6回

年月日	会議の名称	会場	主な議題	出席人員
5.5.29	企画委員会	保健福祉合同庁舎	令和4年度事業報告・決算、機関誌7月号の企画・編集	8人
7.31	〃	〃	機関紙9月号の企画・編集、社会福祉総会について	9人
9.28	〃	〃	機関紙11月号の企画・編集	9人
11.16	〃	〃	機関紙1月号の企画・編集	8人
6.1.22	〃	〃	機関紙3月号の企画・編集	9人
3.13	〃	〃	令和6年度事業計画・予算、機関紙5月号の企画・編集	8人

○その他の諸会議 6回

年月日	会議の名称	会場	主な議題	出席人員
5.4.17	ふれあい喫茶担当者会議	市民福祉センター	令和5年度補助金交付、情報交換	58人
5.6.28	献血推進協議会	保健福祉合同庁舎	令和4年度事業報告、収支決算 令和5年度事業計画・予算	7人
5.8.22	地区募金会	保健福祉合同庁舎	共同募金運動・歳末たすけあい運動の推進	10人
6.3.19	〃	〃	共同募金運動・歳末たすけあい運動の結果報告	9人
6.1.16	ボランティアフェスティバル新委員会	保健福祉合同庁舎	ボランティアフェスティバル in 貝塚について	14人
2.26	〃	〃	〃	15人
5.7.13	校区ボランティア部会交流会	書面開催	ボランティア活動パネル展について	
12.5	〃	保健福祉合同庁舎	ボランティアフェスティバル in 貝塚について	15人
5.8.22	配分審査委員会	保健福祉合同庁舎	令和6年度公募配分事業について	10人

## 2. 地区福祉委員会活動

地区福祉委員会においては、身近な福祉課題の解決に向けて、地域の特性を活かした様々な福祉活動に取り組んでいます。令和5年度も地域住民、関係機関等と連携し、地域における支え合い、助け合いの地域づくりに取り組みました。

統一テーマ事業として、献血事業・独自ふれあい訪問事業・機関紙発行をそれぞれ実施。

また、メニュー事業については、6分野の研修を設定し、事業費助成を行うとともに、各校区において、活動のヒントにつなげるための研修会を開催しました。

令和5年度各校区統一テーマ事業実施状況

統一テーマ事業	実 施 校 区	
献血事業	木島校区 (5/26・11/24) 葛城校区 (5/26・11/24) 東山校区 (5/26・11/24) 南 校区 (7/15・3/9) 二色校区 (8/27・3/23)	津田校区 (9/2・3/16) 北 校区 (9/23) 東 校区 (11/26) 永寿校区 (11/25) 中央校区 (5/28)
独自ふれあい訪問事業	東 校区 (5/19・9/15・1/19) 北 校区 (5/19・9/15・1/19) 津田校区 (5/19・9/15・1/19) 木島校区 (11/17・1/12) 中央校区 (5/26・9/15・1/26)	葛城校区 (5/26・9/15・1/26) 二色校区 (5/19・9/15・1/19) 西 校区 (9/15・1/19) 南 校区 (5/19・1/19)
機関紙発行	西 校区 4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3月発行 北 校区 7月・10月・1月・3月発行 南 校区 8月・1月発行 津田校区 8月・1月発行 東校区 1月発行	木島校区 10月・3月発行 葛城校区 9月・3月発行 二色校区 7月・12月・3月発行 東山校区 7・8・9・10・11・1月発行

令和5年度各校区メニュー事業実施状況

メニュー事業	実 施 校 区	
青少年分野研修会	津田校区 (6/28) 西 校区 (6/29)	
障害者分野研修会		
人権分野研修会	東 校区 (11/11) 北 校区 (2/27)	
ボランティアスクール	北 校区 (5/20・9/16・3/24) 西 校区 (2/20)	
住民懇談会		
その他分野研修会	二色校区 (6/13・11/25) 葛城校区 (9/17) 木島校区 (2/25)	北 校区 (12/4) 西 校区 (3/16)

### 3. 各種研修会

年月日	事業名	会場	主な内容	参加人員
5.12.3	社協ボランティア 管外研修会	堺市総合防災 センター	① 地震体験 ② 防災情報学習 ③ 応急救護体験 ④ 消化体験	40人
5.5.17～ 24 5.10.21～ 22	生活援助サービス 従事者研修	市民福祉センタ ー	介護予防・日常生活支援総合事業 の訪問型サービスのうち、市独自の 緩和した人員基準による訪問型 サービスの従事者を養成	16人  23人

### 4. 啓発活動

○機関紙「社協かいつか」の発行、年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

タブロイド版4面、町会・自治会を通じて全戸配布。（全面カラー）

○「声の広報」の発行、年6回

視覚障害者の方を対象に社協かいつかの音声版を配布。

○ホームページ、インスタグラム、フェイスブックの充実

最新情報を随時更新し、事業内容を周知。

○ボランティア活動パネル展の開催

8月23日～8月25日、イズイチシェルピア・ドゥ アトリウムにおいて、社協ボランティア連絡会および各校区ボランティア部会の活動写真をパネル展示し、地域で取り組まれているボランティア活動を広く市民のみなさんに周知しました。

### 5. 第29回貝塚市社会福祉総会の開催

令和5年11月18日、市民福祉センターにおいて、社協会員をはじめ社会福祉関係者140名が相集い、地域福祉への関心や社協事業への参加意欲の高揚を図るとともに、多年にわたり社会福祉の向上に功績のあった方がたを顕彰することを目的に開催。

第1部 式典「社会福祉功労者表彰」

○貝塚市長感謝状－8名

○貝塚市社協会長表彰－28名・1団体

第2部 講義「感染症について学ぼう」～地域活動を続けるために～

講師 市立貝塚病院 感染管理室 水本 雄二氏

社協活動報告「拡大地域ケア会議について」 発表者 社協職員

### 6. 第25回ボランティアフェスティバル in 貝塚の開催

令和6年3月23日、コスモシアターにおいて「できるときに、できることを、できるだけ」をテーマに開催し、総勢550名の参加がありました。

社協ボランティアをはじめ、各校区のボランティアや関係者が一堂に会して、交流を深めるとともに、市民のみなさんに楽しみながら福祉やさまざまなボランティア活動を知っていただく機会となりました。

（内容） 模擬店、演芸会、パネル展、授産製品販売、お楽しみ抽選会等

## 7. 小地域ネットワーク活動の推進

市内全地区福祉委員会において、地域の高齢者や障害者など、支援を必要とする人々が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい助け合い活動を展開。

令和5年度においても住民同士のふれいや支え合いのきっかけとなっている交流活動や継続的な見守り、声かけ訪問活動などの取り組みが進められました。

校 区	推進委員会等の開催	個別援助活動			グループ援助活動 (訪問活動含む)			研修 学習活動	広報啓発 活動	福祉委員会 加入町会数
		対象者数 (人)	協力員数 (人)	延訪問 回数(回)	開催回数 (回)	延参加者 数(人)	延協力員 数(人)	〔研修会〕 〔見学会等〕	〔機関紙 発行等〕	
東	11回	196	26	800	80	2,860	750	0回	1回	7町会
西	3回	191	26	654	164	6,996	961	3回	12回	12町会
南	1回	53	12	806	96	3,366	777	1回	1回	18町会
北	4回	33	16	571	69	4,005	685	6回	4回	10町会
津田	9回	142	12	1,204	67	2,355	492	1回	3回	4町会
中央	1回	20	12	449	82	3,578	722	0回	1回	9町会
木島	3回	18	14	148	64	2,712	774	2回	2回	7町会
永寿	0回	194	19	2,334	6	215	82	0回	0回	1町会
葛城	6回	9	3	202	73	2,359	834	1回	7回	6町会
二色	6回	106	16	404	33	3,295	517	2回	3回	7町会
東山	5回	199	10	385	28	1,435	205	2回	8回	2町会
合計	49回	1,161	166	7,957	762	33,176	6,799	18回	42回	83町会

## 8. 生活福祉資金貸付事業

低所得者階層に必要な不可欠な制度となっている当事業では、教育支援資金について特に需要が高く、本年度においては福祉資金 6 件 3,649,000 円、教育支援資金 16 件 8,742,000 円、緊急小口資金 8 件 743,000 円の貸付を行なうと同時に、民生委員・児童委員による生活指導をも併行して行なうことにより低所得階層等の経済的自立と生活意欲の助長促進を図った。

貸付状況

(R5.4.1~R6.3.31)

### (1) 福祉資金

資金種類	貸付件数	貸付額
生活必需品	2 件	138,000 円
給排水設備	1 件	500,000 円
障がい者自動車	1 件	2,500,000 円
住宅改修	1 件	363,000 円
その他	1 件	148,000 円
合計	6 件	3,649,000 円

### (2) 教育支援資金

貸付件数	貸付額
16 件	8,742,000 円

### (3) 緊急小口資金

貸付件数	貸付額
8 件	743,000 円

## 9. コロナ特例貸付フォローアップ事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対し、一時的な生活資金の貸付（特例貸付）を実施。令和4年9月30日に貸付制度自体は終了しましたが、その後の生活状況の確認や、償還に関する相談（償還免除・償還猶予・少額償還など）、およびそれらの制度への申請支援を行った。

### (1) 償還免除・償還猶予等の相談件数

電話	窓口
85件	167件

### (2) 償還猶予中の借受人への生活状況確認および相談件数

郵送	電話	窓口
45件	68件	27件

### (3) 償還未応答者への連絡および相談件数

郵送	電話	窓口
303件	28件	11件

## 10. 生活困窮者家計改善支援事業

本年度は、貝塚市より生活困窮者家計改善支援事業を受託し、家計改善支援員2名を配置。家計収支の均衡がとれていない等、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、状況に応じた支援計画の作成、専門的な助言、指導等を行うことにより、生活困窮者の早期の生活再生に向けた支援を行った。

### (1) 本年度支援人数 . . . . 10人

### (2) 相談支援実施件数

(件数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電話相談	2	3	1	2	1	1	1	0	0	0	1	0
訪問	4	3	1	1	1	0	0	0	1	0	2	1
同行支援	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
面談	3	3	4	4	3	3	4	2	4	2	1	3
支援会議	1	6	2	1	2	1	1	0	4	0	1	3
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0

### (3) 自立相談支援機関との支援調整会議

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施回数	1	6	2	1	2	1	1	0	4	0	1	3



## 11. 善意銀行

善意銀行預託は、本年度末現在8件の善意が結集、うち金銭預託が7件496,544円、物品預託が1件あり、本年度において318,500円の払い出しを行った。

### 善意銀行金銭預託者一覧表

〈敬称略〉

#### 《金銭・一般寄付》

NO	年月日	氏名(団体名)	金額	備考
1	令和5年8月8日	(株)ファミリー	10,000円	
2	令和5年11月14日	匿名	30,000円	
3	令和6年1月22日	貝塚民間保育協議会	29,720円	
4	令和6年1月23日	貝塚西グラウンドゴルフ愛好会	17,600円	
5	令和6年6月8日	コスモスの会	90,724円	

#### 《金銭・指定寄付》

NO	年月日	氏名(団体名)	金額	備考
1	令和5年12月25日	よさこい 本店	118,500円	津田校区福祉委員会
2	令和6年3月22日	特定非営利活動法人 すばる	200,000円	貝塚市視覚障害者協会

善意銀行《一般寄付》	5件	178,044円
善意銀行《指定寄付》	2件	318,500円
善意銀行寄付金合計	7件	496,544円

#### 《物品寄付》

NO	年月日	氏名(団体名)	物品	備考
1	令和5年12月13日	匿名	車イス 2台	

## 12. ボランティアセンター事業

### ◆広報、啓発

- 1) 市内全戸配布の機関紙「社協かいづか」に掲載
- 2) ボランティア活動パネル展  
11 校区ボランティア部会と社協ボランティア連絡会に協力いただき、活動の様子をパネル展示にて周知・啓発
  - ・開催日：令和5年8月23日（水）～25日（金）
  - ・会場：イヅイチシェルピア Deux アトリウム
- 3) ホームページ、フェイスブック、社協ボランティア連絡会のブログによる活動周知

### ◆相談、情報提供

- 1) ボランティア派遣調整、活動に関する情報提供  
個人や関係機関（市内社会福祉施設）からボランティアを必要とする相談を受け派遣
  - ・派遣件数 保育ボランティア 5件
    - ・子育て支援センター 5件（内子育て支援センターひだまり 4件）
  - 福祉施設ボランティア 3件
    - ・デイサービスそらまめ清児 1件
    - ・貝塚いぶき作業所 1件
    - ・ネクストライフ貝塚 1件
  - 関係機関へのボランティア
    - ・貝塚市視覚障害者協会 1件

### ◆講座、研修

- 1) ボランティア講座  
日時：令和5年11月22日（水）13時30分～15時00分  
会場：貝塚市保健・福祉合同庁舎3階大会議室  
目的：新規ボランティアグループ立ち上げに伴う参加型ボランティア講座  
講師：貝塚市社協ボランティア連絡会 コーディネーター 日比野 孝正氏  
内容：車いす介助と疑似体験  
参加者：10人

### ◆交流

- 1) 第25回ボランティアフェスティバル in 貝塚の開催  
日時：令和6年3月23日（土）10時30分～15時00分  
会場：コスモシアター中ホール、小ホール、前庭 など  
目的：ボランティア活動の一層のつながり・広がり・高めあいを目指す  
内容：主催者挨拶、来賓挨拶・紹介、模擬店、販売コーナー、演芸会、抽選会 など  
対象：校区ボランティア部会、社協ボランティア連絡会、地区福祉委員会  
災害救援ボランティア  
参加者：550人

## 2) 福祉教育協力校事業の推進

- ・令和5年度指定校申請受付、助成金の交付
- ・令和5年度ひとり暮らし高齢者へのお便り活動  
年賀はがきを通じて市内福祉教育協力校の児童と社協ふれあい訪問事業利用者との交流活動を行う

### ◆防災、災害

#### 1) 災害救援ボランティアの募集・登録

災害時に活動ができるボランティアの登録を推進

登録者：62人(令和6年3月31日現在)

### ◆登録

#### 1) 個人、グループのボランティア登録

- ・登録者：個人 4人  
          団体 1団体(23人)

### ◆活動支援

#### 1) 社協ボランティア連絡会

- ・定期総会の開催(5月開催)
- ・定例会の開催(年3回)
- ・コーディネーター会の開催(年6回)
- ・管外研修の企画・運営(12月開催)
- ・令和6年能登半島地震街頭義援金活動
- ・新規グループ立ち上げ支援(1団体)
- ・登録者名簿の受付・更新
- ・大阪府市町村ボランティア連絡会、泉州ブロック連絡会との調整

#### 2) 校区ボランティア部会

- ・交流会の開催(年2回)
- ・登録者名簿の受付・更新

#### 3) ボランティア活動保険の申請受付

#### 4) その他

- ・登録ボランティアに対するボランティアルームおよび備品の使用、ボランティア保険掛金助成 など

### ◆大阪府ボランティア・市民活動センターとの連携

- 1) 各種会議の出席(ボランティアセンター担当者会議、災害ボランティアセンター運営支援者意見交換会、災害担当職員会議など)
- 2) 体制・状況調査への協力
- 3) ボランティア功労者に対する表彰および感謝状贈呈候補者の推薦

### 13. ふれあい訪問事業

ひとり暮らし高齢者等の孤立解消と、地域における要援護者の見守り及び安否確認を目的として月2回のふれあい訪問を実施。

地区福祉委員会の協力のもと、市内障害（児）者施設・事業所の授産製品や日用品等を配布しながら年間181名の対象者に対し、延べ3469回の訪問（安否確認）を行った。

実施日	内容	材料代	配布数	単価
4月1回目 (4/7)	松源（鶏だんごの野菜煮込み・玉子がゆ）	50,106	170	295
4月2回目 (4/21)	松源（とり釜めし・五目釜めし・漬物）	48,231	170	284
5月1回目 (5/12)	松風庵（お饅頭）	56,440	172	328
6月1回目 (6/2)	松源（パックご飯・ボンカレー）	48,390	173	280
6月2回目 (6/16)	らばん（焼き菓子）・なんなん（せんべい） あすなろ作業所（マフィン）	75,000	173	434
7月1回目 (7/7)	松源（パックご飯・お味噌汁12食入り）	65,052	171	380
7月2回目 (7/21)	あかり（手芸品）・いぶき作業所（手芸品）	75,000	171	439
8月1回目 (8/4)	松源（パックご飯・ボンカレー）	52,038	171	304
8月2回目 (8/18)	らばん（焼き菓子）・なんなん（せんべい） あすなろ作業所（マフィン）	75,000	170	441
9月1回目 (9/1)	松源（お椀で食べるどん兵衛 3食入り）	51,660	169	306
10月1回目 (10/6)	松源（パックご飯・鯖レトルト）	52,849	167	316
10月2回目 (10/20)	白いくも（ラスク）・どんまい（クッキー）	75,000	166	452
11月1回目 (11/10)	松源（赤だし・とり釜めし・五目釜めし）	56,925	164	347
11月2回目 (11/17)	ほっこりの里（ラスク） 夢二色（パウンドケーキ・クッキー）	75,000	164	457
12月1回目 (12/1)	松風庵（お饅頭）	58,550	163	359
12月2回目 (12/15)	あかり（手芸品）・いぶき作業所（手芸品） ふりかけ	83,424	162	515
1月1回目 (1/13)	松源（赤飯パック・すまし汁）	59,125	159	372
2月1回目 (2/2)	松源（パックご飯・クリームチャウダー）	60,162	154	391
2月2回目 (2/16)	らばん（焼き菓子）・なんなん（せんべい） あすなろ作業所（マフィン）	75,000	153	490
3月1回目 (3/1)	松源（パックご飯・親子丼）	63,422	153	415
3月2回目 (3/15)	松源（パックご飯・煮込みハンバーグ他）	57,545	154	374
合計		1,313,919	3,469	

#### 14. 移送サービス事業（おでかけサポートらく楽便）

本事業は、貝塚市内に居住する移動が困難な高齢者や障害者に対し、社会参加の促進や生活の質の向上を図るため、運転協力者（ボランティア）の協力のもと、福祉車両による送迎サービスを実施。

買物を始めとする各種の外出を支援することにより、高齢者等の生活環境の向上に努めた。

(1) 利用登録者 347人（内、新規利用登録者 61人）

(2) 運転協力者 14人（内、新規運転協力登録者 3人）

(3) 利用実績

月	送迎実績（回）	送迎先（内訳）		その他の主な送迎先
		買い物	その他	
4月	60	29	31	病院（総合病院、クリニック、歯医者、眼科、動物病院等）、銀行、農協、郵便局、市役所、福祉センター、図書館、老人センター、警察署、コスモシアター、墓参り、理髪店、クリーニング店、電気店、携帯電話ショップ、補聴器センター、最寄り駅、友人宅等
5月	69	31	38	
6月	69	36	33	
7月	68	33	35	
8月	55	32	23	
9月	74	31	43	
10月	66	33	33	
11月	69	36	33	
12月	62	33	29	
1月	59	30	29	
2月	65	35	30	
3月	64	25	39	
合計	780	384	396	

#### 15. あんしんコール事業（高齢者等安否確認事業）

本事業は、在宅でひとり暮らしの高齢者等に対して、電話による安否確認を実施。

ボランティアがひとり暮らし高齢者などを対象に週に1度、電話訪問（電話による声かけ、話し相手）を行うことにより、安否確認や孤独感・不安感の解消に努めた。

【事業内容】 週1回（月曜日または木曜日の午前中）の電話による安否確認

(1) 利用登録者 16人（内、新規登録者 2人）

(2) コール協力者（ボランティア） 18人（内、新規コール協力登録者 8人）

## 16. 日常生活自立支援事業

本事業は、平成12年4月から大阪府社会福祉協議会の委託を受け、認知症・知的障害・精神障害などで判断能力が不十分な方の権利侵害にかかわる相談に応じたり、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを行うことにより、安心して生活が送れるようにサポートするものである。

事業の目的に沿い、対象者の意思を尊重するために、契約に至るまでの相談・訪問活動にも力を入れ、信頼関係の構築に努めるとともに、契約後も住み慣れた地域で「その人らしく生活する」ことができるよう、きめ細かい支援を行った。

### ○ 本年度相談件数

<b>総 数</b>	<b>1,750件</b>		
	(内訳)	認知症高齢者	189件
		知的障害者	746件
		精神障害者	803件
		そ の 他	12件

### ○ 本年度契約締結件数

<b>本年度末現在 契約者数</b>	<b>70件</b>		
継続 76件	(内訳)	認知症高齢者	25件
		知的障害者	26件
		精神障害者	25件
		そ の 他	0件
新規契約 4件	(内訳)	認知症高齢者	0件
		知的障害者	2件
		精神障害者	2件
		そ の 他	0件
終了 10件	(内訳)	認知症高齢者	6件
		知的障害者	0件
		精神障害者	4件
		そ の 他	0件
(終了理由)	本人死亡	8件(認知症高齢者6件、精神障害者2件)	
	転出	2件(精神障害者 2件)	

### ○ 本年度訪問回数

契約前の訪問回数 15回	(内訳)	認知症高齢者	8回
		知的障害者	1回
		精神障害者	4回
		そ の 他	2回
契約後の活動 1,941回	(内訳)	認知症高齢者	344回
		知的障害者	774回
		精神障害者	823回
		そ の 他	0回

## 17. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業

本事業は、地域の関係諸機関と連携しつつ、様々な生活課題を抱えている方々の相談に努め、生活の見守り、情報提供をはじめ、諸制度や専門機関へ適切につなぐ役割を担った専門職(コミュニティソーシャルワーカー)を配置。

本年度は、社協事務局(保健福祉合同庁舎内)にコミュニティソーシャルワーカー5名を配置。地域における総合生活相談活動を積極的に実施し、要援護者の福祉の向上と自立生活を支えるための基盤づくりを行った。

### ◆令和5年度 活動実績 〔個別相談〕

相談対象	件数
高齢者	54
(うち)一人暮らし高齢者	36
(うち)高齢者のみの世帯	18
障害者	26
(うち)身体障害者	5
(うち)知的障害者	7
(うち)精神障害者	14
子育て中の親子	3
ひとり親家庭の親子	7
青少年	0
DV被害者	0
ホームレス	1
外国人(中国帰国者含)	0
その他(ひきこもり・難病)	7
その他(生活困窮者等)	35
合計	133

相談内容	件数
福祉制度・サービスに関する相談	38
生活に関する身近な相談	50
健康・医療に関する相談	21
生活費に関する相談	44
就労に関する相談	12
財産管理・権利擁護に関する相談	34
消費者被害に関する相談	0
多重債務に関する相談	5
DV・虐待に関する相談	1
地域福祉活動・ボランティア活動に関する相談	0
住宅に関する相談	10
子育て・子どもの教育に関する相談	5
その他(ひきこもり、家財処分、近隣トラブル、苦情等)	6
合計	226

○合計には、すべての相談の延べ件数を記入している。

○相談内容については、相談1件当たり複数項目該当する場合は、それぞれを1件としている。

### 〔個別相談以外〕

活動内容	件数
地域福祉計画に関する情報提供数	0
住民懇談会実施数	0
住民活動コーディネート数	0
要援護者等の組織化を支援した数	0
地域住民を対象とした研修会数	0
拡大地域ケア会議の開催数	354
出張相談開催数	0
合計	354

## 18. 生活支援コーディネーター配置事業

本事業は、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす役割を担う専門職（生活支援コーディネーター）4名を配置。関係者間のネットワークや既存の取組・組織等とも連携し、資源開発、担い手の育成、サービス提供主体間の連携の体制づくりに取り組んだ。

### 1 地域のニーズと資源の把握（見える化）業務

- ① 地域住民の暮らしを支えるさまざまな地域活動、サービス等の情報を集めた「かいづか社会資源ハンドブック」の内容を更新し、社協ホームページに掲載
- ② 生協移動販売車「お買い物便」巡回地域（停留所）マップの情報を更新し、福祉委員会、近隣町会・自治会等の関係者に配布
- ③ その他
  - ・はっぴいネットワーク会議出席 12回
  - ・ふれあい喫茶等の地域イベント、行事への参加 38回
  - ・生活支援コーディネーター養成研修（情報交換会）等への参加

### 2 資源開発業務

- ① 生協移動販売車「お買い物便」巡回希望地区との連絡調整（4回）及び説明会の開催（1回）
- ② 移動スーパー「とくし丸」に関する情報収集、巡回販売に向けての打ち合わせ（2回）
- ③ ふれあい喫茶立ち上げ及び運営支援
  - ・新規（3地区）王子町会 令和6年4月～開始 二色4丁目自治会 令和6年4月～開始  
木積町会 令和6年4月～開始
  - ・活動計画推進費助成 8地区

### 3 担い手の育成業務

- ① 生活援助サービス従事者研修会の開催（2回）

介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービス等のうち、市独自の緩和した人員基準等による訪問型サービスの従事者を養成

内容：令和5年5月17日（水）、5月19日（金）、24日（火） 受講者16名  
令和5年10月21日（土）、12月22日（日） 受講者23名
- ② 移送サービス運転協力者、あんしんコールボランティアの募集、登録  
移送サービス運転協力者 新規登録者3名 あんしんコールボランティア 新規登録者8名

### 4 サービス主体間のネットワーク化業務

- ① 生活支援・介護予防協議体出席 3回
- ② 拡大地域ケア会議の開催（山手・浜手・中央圏域）354回

### 5 その他事業の目的の達成に必要な活動

- ① ふれあいお便り活動の推進
  - ・地域の高齢者との交流活動の一環として市内小・中学校の児童、生徒によるハガキによるお便り、学校行事等の招待状を送付
- ② いきいきサロンの開催支援
  - ・メニュー集の作成及びサロン開催に伴うボランティア講師の派遣調整 35件



## 19. 子育て支援センター事業

本事業は、未就学児の子どもをもつ子育て世代を対象に、親子が集い相互に交流できる場を提供し、周りの支援や学びを得ながら、子育てに余裕をもって関わられるよう支援するとともに、子育てに関する相談や情報を提供することにより、子育てへの不安を軽減することを目的とし、貝塚市より委託を受け実施した。

### 【つどいのひろば利用者数】 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
子ども 人数	134	121	271	254	242	208	271	216	181	261	263	283	2,705
延べ利 用者数	230	212	490	461	427	376	489	386	326	469	466	491	4,823

### 【講座・交流会の開催】

開催日	内容	参加数	開催日	内容	参加数
4/20	人形劇あひるさんがくるよ～	30	11/9	ママヨガで気分はリフレッシュ！	10
5/30	手形・足形フラワーArt	6	12/21	みんなdeハッピークリスマス	42
6/28	子どもの事故と救命救急手当	12	1/30	わくわくサーキット遊び	20
7/11	にじいろまつり	42	2/28	簡単！美味しい！幼児食講座	4
8/8	アフリカのたいこ	27			
9/1	ママヨガで気分はリフレッシュ！	9			
10/18	子どもの遊び～絵本の大切さ～	10			

### 一時預かり事業

保護者の就労状況や利用する理由にかかわらず、未就学の子どもを一時的にお預かりし、育児の疲れをリフレッシュすることで育児に対して前向きに取り組めることを目的とし、貝塚市より委託を受け実施した。

### 【一時預かり利用者数】 (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
35	33	40	43	46	34	44	50	27	26	57	57	492

## 20. ファミリー・サポート・センター事業

ファミリー・サポート・センターでは、子育ての援助をしてほしいかた（利用会員）と協力できるかた（両方・協力会員）との連絡・調整等を行い、双方会員の橋渡し役として相互援助活動の取り組みを支援しました。また、安心・安全な活動ができるように、講座（講習会・交流会）を開催しました。

会員状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用会員	404	409	401	400	395	395	398	404	400	401	405	404
協力会員	203	203	204	204	204	204	205	205	202	202	202	202
両方会員	25	25	24	24	24	24	25	26	26	26	26	25
合計	632	637	629	628	623	623	628	635	628	629	633	631

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
送迎	22	26	43	46	31	41	41	44	40	34	46	32	446
預かり	22	23	23	22	21	16	22	22	18	24	25	24	262
合計	44	49	66	68	52	57	63	66	58	58	71	56	708

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
打ち合わせ数	2	4	3	1	0	1	4	6	2	6	6	5	40
コスモス券申請	1	2	0	0	4	0	3	4	2	2	5	7	30

### 講座開催

開催日	内 容	講師	大人 参加人数	子ども 参加人数	開催施設名
R5年4月19日(水)	よりよい援助活動の為に	協力会員	9		保健・福祉合同庁舎
R5年5月19日(金)	子どもの事故に対する応急手当てと救命処置	貝塚市消防本部 職員	13		保健・福祉合同庁舎
R5年6月23日(金)	小児看護の基礎知識	看護師	10		保健・福祉合同庁舎
R5年7月11日(火)	にじいろまつり	保育教諭	34	25	保健・福祉合同庁舎
R5年8月8日(火)	アフリカのたいこ	太鼓奏者	16	18	保健・福祉合同庁舎
R5年9月29日(金)	子どもの危険を考えよう	保育教諭	9		保健・福祉合同庁舎
R5年10月18日(水)	子どものあそび	保育教諭	10		保健・福祉合同庁舎
R5年11月17日(金)	防災講座	貝塚市危機管理課 職員	11		保健・福祉合同庁舎
R5年12月21日(木)	みんなdeハッピー☆クリスマス会	貝塚市吹奏楽団	24	23	保健・福祉合同庁舎
R6年1月22日(月)	コミュニケーションについて	保育教諭	11		保健・福祉合同庁舎
R6年2月22日(木)	子どもの食生活	保育教諭	9		保健・福祉合同庁舎
R6年3月8日(金)	よりよい援助活動のために	アドバイザー	9		保健・福祉合同庁舎
合計			165	66	

## 2 1. 障害者基幹相談支援センター事業

障害者基幹相談支援センター（以下「センター」という。）は、地域の障害者やその家族をはじめ、相談支援事業所などからの相談支援の拠点として、総合的かつ専門的な相談業務および権利擁護に関することに関する役割を担い、地域の相談支援体制の強化、地域移行や地域定着の促進を図る目的で、貝塚市からの委託を受け、平成 29 年 4 月に開所しています。センターでは、障害に関する総合相談や専門相談、障害者自立支援協議会の企画運営への参画、親亡き後や障害の重度化を地域で支える地域生活支援拠点等の整備、地域移行・地域定着支援に関する関係機関との連携強化など、障害者の社会参加や地域生活を支えるための活動、障害への理解を深めるための啓発活動等に取り組みました。

### (1) 総合相談、専門相談

○個別相談者数 . . . 相談実人数 197 名

○障害別相談延べ人員

身体障害	重心障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	難病	不明	合計
39	1	30	63	21	9	2	62	227

### (2) 地域の相談支援体制の強化の取り組み

○相談支援事業所連絡会 . . . 14 回開催（うち、打ち合わせ 10 回）

○初任者対象ゼミ . . . 2 回開催

○インターバル研修 . . . 22 回開催（初任者 8 名・現任者 7 名）

その他、巡回総合相談、個別支援会議などを実施した。

### (3) 地域移行・地域定着

○精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム協議の場（市町村圏域） . . . 1 回

○精神科病院の院内研修参画 . . . 4 回（貝塚中央病院・水間病院・こころあ病院・木島病院）

○地域移行部会 . . . 5 回

### (4) 権利擁護・虐待防止

○障害者虐待通報相談 . . . 1 件（危機介入・継続的なフォローアップ）

○権利擁護部会 . . . 4 回（うち 1 回は、権利擁護に関する研修会）

### (5) 障害者自立支援協議会の運営等

○本会議、事業委員会 . . . 3 回（本会議 1 回、事業委員会 2 回）

○運営会議・事務局会議 . . . 5 回

○地域生活推進部会 . . . 13 回

○就労支援部会 . . . 4 回

○貝塚市内障害児者施設連絡会 . . . 13 回（施設長会 6 回・主任会 6 回・研修会 1 回）

○地域自立支援協議会情報交換会 . . . 2 回

## 2.2. 献血事業

昨年度に引き続き、献血への理解と協力を求めるために、広報など積極的な啓発活動を展開した。また、府、市、大阪府赤十字血液センターなど関係機関との連携協力のもと、福祉委員会などが主催する地域献血を推進し、安定した献血協力者の確保に寄与した。

貝塚市献血推進協議会の活動および献血実績は下記のとおり。

### 貝塚市献血推進協議会事業実績

- 貝塚市献血推進協議会総会                      令和5年6月28日                      (委員7名出席)
- 広報資料作成および普及活動実績  
    広報車による市内啓発
- 献血会場での啓発実績  
    粗品進呈200円程度の啓発物品 (歯磨きセット等)

### 献 血 実 施 状 況

(単位：人)

No.	献血実施日				主 催 団 体 名	献 血 実 施 場 所	受 付	採 血			不採血
	年	月	日	曜				200cc	400cc	計	
1	5	5	26	金	木島校区・東山校区・葛城校区福祉委員会	山手地区公民館	39	1	34	35	4
2			28	日	中央校区福祉委員会	松源鳥羽店	59	2	53	55	4
3		7	6	木	貝塚市献血推進協議会・ライオンズクラブ共催	貝塚市役所、コスモシアター前	89	5	71	76	13
4			15	土	南校区福祉委員会	イオン貝塚店	55	3	41	44	11
5		8	27	日	二色校区福祉委員会	浜手地区公民館	28	1	25	26	2
6			29	火	貝塚市献血推進協議会	貝塚消防署	8	0	8	8	0
7		9	2	土	津田校区福祉委員会	コープ貝塚	59	3	42	45	14
8			23	土	北校区福祉委員会	庄や貝塚	50	2	45	47	3
9		10	26	土	貝塚市献血推進協議会・ライオンズクラブ共催	貝塚市役所、コスモシアター前	81	5	67	72	9
10		11	24	金	木島校区・東山校区・葛城校区福祉委員会	山手地区公民館	36	0	28	28	8
11			25	土	永寿校区福祉委員会	オークワ三ツ松店	29	1	28	29	0
12			26	日	東校区福祉委員会	ホームセンタームサン	63	3	52	55	8
13	6	2	8	木	貝塚市献血推進協議会・ライオンズクラブ共催	貝塚市役所、コスモシアター前	76	5	69	74	2
14		3	9	土	南校区福祉委員会	イオン貝塚店	87	4	77	81	6
15			16	水	津田校区福祉委員会	コープ貝塚	55	3	41	44	11
16			23	土	二色校区福祉委員会	浜手地区公民館	23	1	17	18	5
17											
18											
19											
合		計					837	39	698	737	100

## 23. 各種機材の貸出

市内在住で、短期間に車イスを必要とする方に対して、無料で貸出しを実施しました。  
併せて、福祉教育、ボランティア学習推進のため、体験学習を行う団体などに対して、高齢者疑似体験セットの貸出しを実施しました。

### 1. 車イスの貸出状況

1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3ヶ月以上	合計
66	21	33	6	126

※ 現在貸出中 11 件

### 2. 高齢者疑似体験セットの貸出状況

日程	研修名	実施団体	対象者
11月22日	高齢者疑似体験	社協ボランティア連絡会（エンジョイ）	ボランティア
12月19日	老年の講義	河崎会看護専門学校	学生

## 24. 社会福祉実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成を目的に、8月7日～9月6日の24日間、社会福祉士養成課程における相談援助実習生を受入れ。各担当者（部署）において社会福祉士として必要な知識及び援助技術を習得するための実習指導を実施しました。

受入れ養成校 桃山学院大学 社会学部  
受入れ人数 1名

## 25. 共同募金運動・歳末たすけあい運動

共同募金、歳末たすけあい運動は、住民相互の助けあい運動として、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、今年度においても、住民のみなさん、ボランティアや地区福祉委員会、関係機関・団体によるあたたかいご支援のもと、実施することができました。

令和5年度 貝塚地区共同募金実績表

種別	令和4年度 実績額(円)	令和5年度 実績額(円)	前年度との 対比(%)	前年度との 対比(±円)	実績 構成比 (%)
戸別募金 (町会)	3,269,150	3,169,795	97%	-99,355	52.8%
法人募金(会社・商店・個人)	849,610	717,390	84%	-132,220	12.0%
学校募金	261,991	243,802	93%	-18,189	4.1%
街頭募金	181,463	184,811	102%	3,348	3.1%
バッジ募金	1,515,500	1,366,602	90%	-148,898	22.8%
職域募金	20,593	23,899	116%	3,306	0.4%
その他募金	313,056	293,334	94%	-19,722	4.9%
合計	6,411,363	5,999,633	94%	-411,730	100.1%

令和5年度 貝塚地区歳末たすけあい募金実績表

種別	令和4年度 実績額(円)	令和5年度 実績額(円)	前年度との 対比(%)	前年度との 対比(±円)	実績 構成比 (%)
戸別募金 (町会)	1,057,700	1,025,865	97%	-31,835	66%
一般募金	365,996	333,288	91%	-32,708	21%
街頭募金	186,064	193,539	104%	7,475	12%
合計	1,609,760	1,552,692	96%	-57,068	100.0%